

ダイワ・インド株ファンド (愛称：パワフル・インド)

運用報告書(全体版)

第57期（決算日 2022年 9 月 7 日）
第58期（決算日 2022年12月 7 日）

（作成対象期間 2022年 6 月 8 日～2022年12月 7 日）

■信託期間を 5 年間延長し、信託期間終了日を
2023年 6 月 7 日から2028年 6 月 7 日に変更しました。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2008年 6 月13日～2028年 6 月 7 日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株マザーファンド	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するインドの企業の株式およびD R（預託証券）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近10期の運用実績

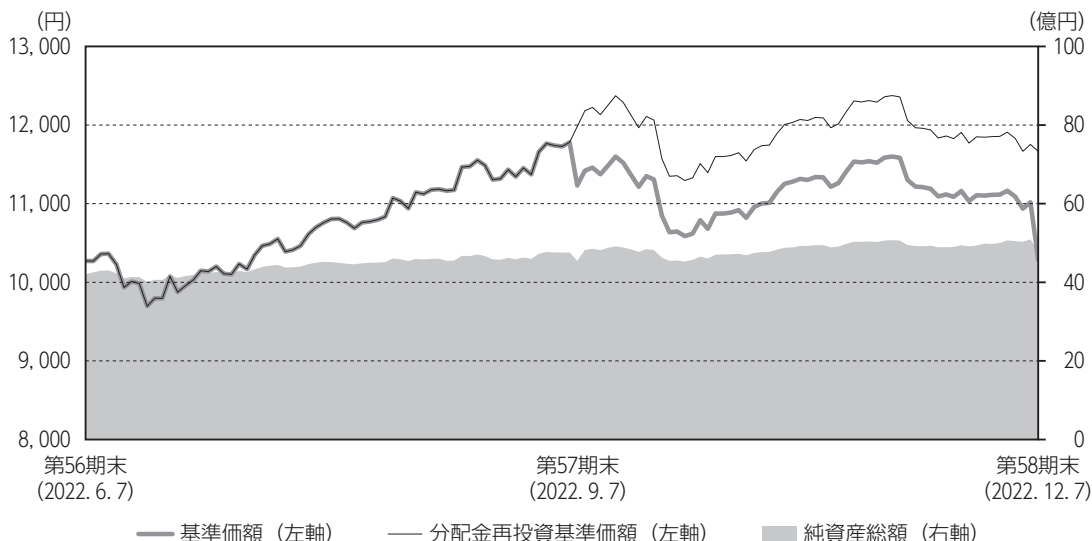
決 算 期	基 準 価 額			M S C I インド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
49期末(2020年 9 月 7 日)	8,780	0	13.8	14,638	13.0	94.4	2.9	3,228
50期末(2020年12月 7 日)	9,884	100	13.7	16,358	11.8	94.5	3.2	3,316
51期末(2021年 3 月 8 日)	10,075	1,100	13.1	19,326	18.1	93.2	4.4	2,781
52期末(2021年 6 月 7 日)	9,532	1,000	4.5	20,954	8.4	93.3	4.3	3,038
53期末(2021年 9 月 7 日)	9,954	450	9.1	23,539	12.3	93.9	3.6	4,002
54期末(2021年12月 7 日)	9,615	0	△ 3.4	22,924	△ 2.6	91.1	3.6	4,120
55期末(2022年 3 月 7 日)	9,174	0	△ 4.6	22,040	△ 3.9	93.2	3.7	3,858
56期末(2022年 6 月 7 日)	10,273	200	14.2	25,325	14.9	94.6	3.2	4,200
57期末(2022年 9 月 7 日)	11,230	750	16.6	28,969	14.4	95.9	3.5	4,544
58期末(2022年12月 7 日)	10,285	650	△ 2.6	27,888	△ 3.7	94.0	3.3	4,772

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I インド指数 (配当込み、円換算) は、M S C I Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、M S C I インド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I インド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第57期首：10,273円

第58期末：10,285円（既払分配金1,400円）

騰落率：13.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インド・ルピーが、世界的なインフレ後退期待からインドと日本の金利差が縮小したことを受け、対円で下落（円高）したことはマイナス要因となりましたが、インド株式市場が、国内のインフレピークアウト観測の高まりや、米国利上げ減速期待などを背景に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

ダイワ・インド株ファンド

	年 月 日	基 準 価 額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第57期	(期首) 2022年 6 月 7 日	10, 273	—	25, 325	—	94. 6	3. 2
	6 月末	10, 200	△ 0. 7	24, 644	△ 2. 7	93. 0	3. 1
	7 月末	10, 771	4. 8	25, 979	2. 6	94. 3	3. 1
	8 月末	11, 661	13. 5	28, 343	11. 9	93. 9	3. 2
	(期末) 2022年 9 月 7 日	11, 980	16. 6	28, 969	14. 4	95. 9	3. 5
第58期	(期首) 2022年 9 月 7 日	11, 230	—	28, 969	—	95. 9	3. 5
	9 月末	10, 619	△ 5. 4	27, 419	△ 5. 4	93. 3	3. 3
	10 月末	11, 404	1. 5	29, 005	0. 1	93. 8	3. 3
	11 月末	11, 114	△ 1. 0	28, 432	△ 1. 9	93. 4	3. 2
	(期末) 2022年 12 月 7 日	10, 935	△ 2. 6	27, 888	△ 3. 7	94. 0	3. 3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 6. 8 ~ 2022. 12. 7)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より、ＲＢＩ（インド準備銀行）の利上げや米国利上げ加速懸念を背景に下落して始まりましたが、2022年8月半ばにかけて、原油価格の下落やインド国内のインフレピークアウト観測などが好感され、大きく上昇しました。その後は、インド国内景気回復への期待感が高まったことや、米国利上げペース鈍化が意識されたことで底堅く推移し、当作成期末にかけて小幅に上昇しました。

■為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、日本とインド間での金融政策のかい離や金利差拡大を背景に、2022年10月下旬にかけて対円で上昇（円安）しました。しかしその後は、米国のＣＰＩ（消費者物価指数）が予想以上に下振れしたことを受け、世界的にインフレ後退期待が強まったことでインドの金利が低下し、インド・ルピーは対円で大幅に下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ってまいります。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 6. 8 ~ 2022. 12. 7)

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

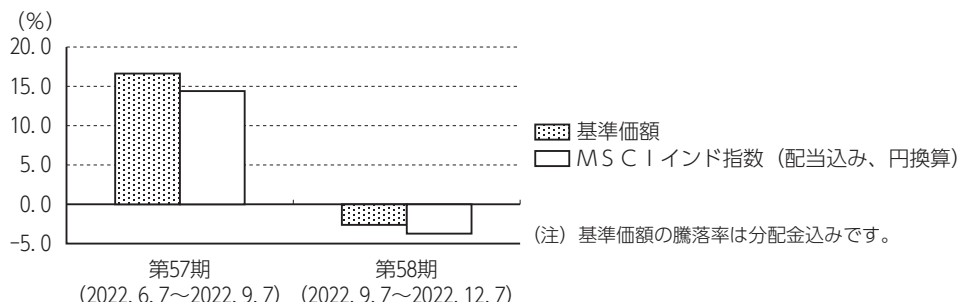
■ダイワ・インド株マザーファンド

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績拡大が見込まれた銀行を中心に金融セクター、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第57期	第58期
		2022年6月8日 ～2022年9月7日	2022年9月8日 ～2022年12月7日
当期分配金（税込み）	（円）	750	650
対基準価額比率	（％）	6.26	5.94
当期の収益	（円）	750	—
当期の収益以外	（円）	—	650
翌期繰越分配対象額	（円）	4,843	4,195

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第57期	第58期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.68円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 1,629.49	0.00
(c) 収益調整金	3,356.28	3,648.82
(d) 分配準備積立金	571.16	✓ 1,196.47
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	5,593.63	4,845.29
(f) 分配金	750.00	650.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	4,843.63	4,195.29

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第57期～第58期 (2022. 6. 8～2022. 12. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	101円	0. 926%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 945円です。
(投 信 会 社)	(48)	(0. 441)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0. 441)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0. 044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	9	0. 079	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(8)	(0. 077)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 002)	
有価証券取引税	3	0. 026	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0. 026)	
そ の 他 費 用	35	0. 323	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0. 049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(30)	(0. 271)	インドのキャピタルゲイン課税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	148	1. 354	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

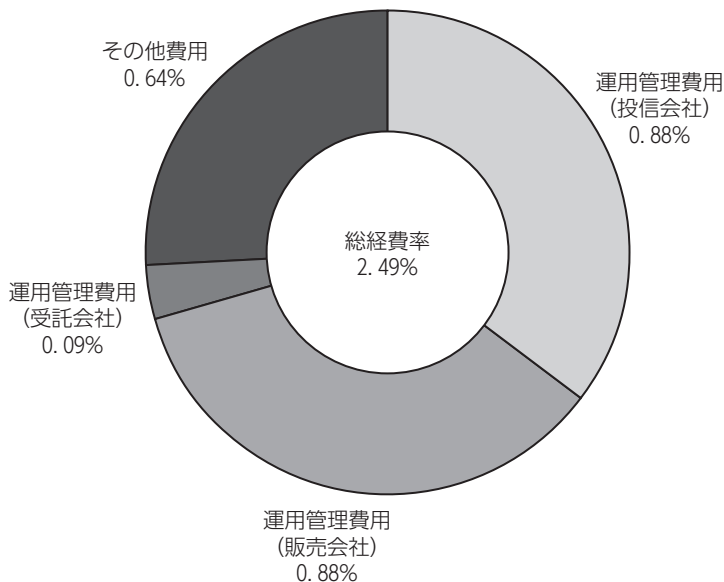
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年 6 月 8 日から2022年12月 7 日まで)

決 算 期	第 57 期 ～ 第 58 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株 マザーファンド	285, 710	889, 300	295, 934	921, 800

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年 6 月 8 日から2022年12月 7 日まで)

項 目	第 57 期 ～ 第 58 期
	ダイワ・インド株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1, 242, 282千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4, 372, 818千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0. 28

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第56期末	第 58 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド株 マザーファンド	1, 512, 498	1, 502, 274	4, 743, 430

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月 7 日現在

項 目	第 58 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株マザーファンド	4, 743, 430	92. 9
コール・ローン等、その他	362, 889	7. 1
投資信託財産総額	5, 106, 319	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月 7 日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝137. 31円、1 インド・ルピー＝1. 67円です。

(注 3) ダイワ・インド株マザーファンドにおいて、第58期末における外貨建純資産 (4, 694, 929千円) の投資信託財産総額 (4, 760, 354千円) に対する比率は、98. 6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年 9 月 7 日)、(2022年12月 7 日) 現在

項 目	第57期末	第58期末
(A) 資産	4, 904, 229, 881円	5, 106, 319, 540円
コール・ローン等	88, 853, 031	362, 889, 382
ダイワ・インド株 マザーファンド (評価額)	4, 535, 776, 850	4, 743, 430, 158
未収入金	279, 600, 000	—
(B) 負債	360, 209, 576	333, 761, 195
未払収益分配金	303, 483, 853	301, 634, 663
未払解約金	36, 007, 015	9, 592, 614
未払信託報酬	20, 657, 274	22, 405, 850
その他未払費用	61, 434	128, 068
(C) 純資産総額 (A－B)	4, 544, 020, 305	4, 772, 558, 345
元本	4, 046, 451, 374	4, 640, 533, 292
次期繰越損益金	497, 568, 931	132, 025, 053
(D) 受益権総口数	4, 046, 451, 374口	4, 640, 533, 292口
1万口当り基準価額 (C/D)	11, 230円	10, 285円

* 当作成期首における元本額は4, 089, 305, 173円、当作成期間 (第57期～第58期) 中における追加設定元本額は1, 367, 150, 320円、同解約元本額は815, 922, 201円です。

* 第58期末の計算口数当りの純資産額は10, 285円です。

■損益の状況

第57期 自 2022年 6 月 8 日 至 2022年 9 月 7 日
第58期 自 2022年 9 月 8 日 至 2022年12月 7 日

項 目	第57期	第58期
(A) 配当等収益	△ 3,668円	△ 5,374円
受取利息	226	166
支払利息	△ 3,894	△ 5,540
(B) 有価証券売買損益	694,935,421	△ 109,265,609
売買益	727,518,250	3,258,704
売買損	△ 32,582,829	△ 112,524,313
(C) 信託報酬等	△ 20,718,708	△ 22,472,484
(D) 当期損益金 (A + B + C)	674,213,045	△ 131,743,467
(E) 前期繰越損益金	231,118,421	555,227,708
(F) 追加信託差損益金	△ 104,278,682	10,175,475
(配当等相当額)	(1,358,104,218)	(1,693,249,685)
(売買損益相当額)	(△1,462,382,900)	(△1,683,074,210)
(G) 合計 (D + E + F)	801,052,784	433,659,716
(H) 収益分配金	△ 303,483,853	△ 301,634,663
次期繰越損益金 (G + H)	497,568,931	132,025,053
追加信託差損益金	△ 104,278,682	10,175,475
(配当等相当額)	(1,358,104,218)	(1,693,249,685)
(売買損益相当額)	(△1,462,382,900)	(△1,683,074,210)
分配準備積立金	601,847,613	253,593,045
繰越損益金	—	△ 131,743,467

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第57期	第58期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,846,102円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	659,366,943	0
(c) 収益調整金	1,358,104,218	1,693,249,685
(d) 分配準備積立金	231,118,421	555,227,708
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,263,435,684	2,248,477,393
(f) 分配金	303,483,853	301,634,663
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,959,951,831	1,946,842,730
(h) 受益権総口数	4,046,451,374□	4,640,533,292□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	第57期	第58期
	750円	650円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■信託期間の延長について
信託期間を 5 年間延長し、信託期間終了日を2023年 6 月 7 日から2028年 6 月 7 日に変更しました。

ダイワ・インド株マザーファンド

運用報告書 第16期（決算日 2022年12月7日）

（作成対象期間 2021年12月8日～2022年12月7日）

ダイワ・インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するインドの企業の株式およびD R（預託証書）
株式組入制限	無制限

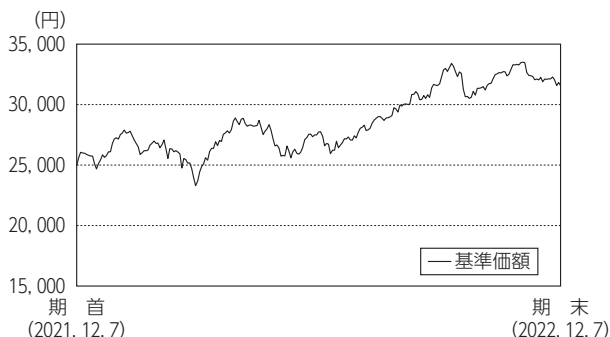
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株 式	株 式
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	組入比率 %	先物比率 %
(期首) 2021年12月7日	24,967	—	22,760	—	94.0	3.7
12月末	26,098	4.5	23,935	5.2	93.0	3.6
2022年1月末	26,248	5.1	23,531	3.4	94.0	3.6
2月末	25,542	2.3	22,882	0.5	94.6	3.6
3月末	27,836	11.5	25,392	11.6	95.5	3.8
4月末	27,997	12.1	26,035	14.4	95.5	3.1
5月末	27,118	8.6	24,589	8.0	93.8	3.2
6月末	27,328	9.5	24,468	7.5	93.9	3.2
7月末	28,918	15.8	25,793	13.3	95.2	3.2
8月末	31,387	25.7	28,141	23.6	94.8	3.3
9月末	30,604	22.6	27,223	19.6	93.5	3.3
10月末	32,925	31.9	28,797	26.5	94.0	3.3
11月末	32,130	28.7	28,229	24.0	93.5	3.2
(期末) 2022年12月7日	31,575	26.5	27,689	21.7	94.5	3.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCIインド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数 (配当込み、インド・ルピーベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関与していかん責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：24,967円 期末：31,575円 騰落率：26.5%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、インド国内のインフレピークアウト観測や景気回復期待が支援材料となって保有株式が上昇したことや、円安米ドル高の進行を受けて対円でインド・ルピーが上昇 (円安) したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より、インドの景気刺激策への期待などから上昇してしまいましたが、米国の利上げ加速懸念やロシアのウクライナ侵襲を受けて、2022年3月上旬にかけて大きく下落しました。その後も、主要各国の金融政策の動向に影響され値動きの荒い展開が続き、6月中旬にかけて下落しました。8月中旬にかけては、原油価格の下落やインド国内のインフレピークアウト観測などが好感され大きく上昇しました。その後は、米国の金融引き締め動向が懸念され弱含む場面もありましたが、インド国内の景気回復への期待感から、底堅く推移しました。10月以降は、米国の利上げペース鈍化が意識され、当作成期末にかけて堅調に推移しました。

○為替相場

インド・ルピーは、当作成期を通しては円安インド・ルピー高となりました。

インド・ルピーは、当作成期首より2022年3月上旬にかけて、対円でおおむね横ばい推移しました。その後は、日米の金融政策のかい離と金利差拡大を背景とした急速な円安米ドル高の進行を受け、9月上旬にかけて円安インド・ルピー高が堅調に進行しました。当作成期末にかけては、米国の利上げ減速期待が高まったことで日米の金利差が縮小し、円が買われたことで円高インド・ルピー安となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ってまいります。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられた強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

主に、インフラ (社会基盤) 投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績拡大が見込まれた銀行を中心に金融セクター、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられた強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	44円 (42)
(先物・オプション)	(1)
有価証券取引税 (株式)	16 (16)
その他費用 (保管費用)	186 (24)
(その他)	(162)
合 計	245

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
株 式

当 期				期 付			
買		株 数		売		株 数	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
千株 千円 円				千株 千円 円			
INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	52.5	138,112	2,630	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	52.8	148,322	2,809
ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	36.2	106,329	2,937	INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	50.8	138,327	2,722
WIPRO LTD (インド)	112.3	96,926	863	BHARTI AIRTEL LTD (インド)	99.313	113,543	1,143
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE (インド)	23.4	91,990	3,931	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	12.4	105,901	8,540
DIVI'S LABORATORIES LTD (インド)	14	80,547	5,753	DR. REDDY'S LABORATORIES (インド)	11.9	89,048	7,483
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	9.1	78,309	8,605	TATA CONSULTANCY SVCS LTD (インド)	12.7	73,899	5,818
DLF LTD (インド)	105	56,064	533	AXIS BANK LTD (インド)	42.2	55,940	1,325
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD (インド)	42.5	38,996	917	BHARAT PETROLEUM CORP LTD (インド)	106.4	55,454	521
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD (インド)	27.5	37,026	1,346	HDFC BANK LIMITED (インド)	20.3	51,921	2,557
MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	1.7	26,329	15,488	MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	3.6	50,619	14,061

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1)株 式 (2021年12月 8 日から2022年12月 7 日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 978 (—)	千アメリカ・ドル 2,363 (—)	百株 1,160	千アメリカ・ドル 2,947
	インド	百株 4,068 (3,708)	千インド・ルピー 363,338 (—)	百株 6,652.13	千インド・ルピー 569,028

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種類別取引状況

		買 建		売 建	
種 類 別		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国		百万円	百万円	百万円	百万円
	株式先物取引	1,811	1,848	—	—

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ICICI BANK LTD-SPON ADR		1,387	1,221	2,755	378,398	金融
INFOSYS LTD-SP ADR		1,317	1,334	2,589	355,535	情報技術
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A		314	281	1,809	248,481	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	3,018	2,836	7,154	982,416	
	銘柄数<比率>	3銘柄	3銘柄		<20.7%>	
(インド)		百株	百株	千インド・ルピー	千円	
NUVOCO VISTAS LTD		512.56	473.56	18,887	31,542	素材
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD		—	425	19,543	32,637	一般消費財・サービス
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND		875	739	54,301	90,683	金融
PAGE INDUSTRIES LTD		11	11	51,686	86,317	一般消費財・サービス
ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD		160	142	20,928	34,950	一般消費財・サービス
PHOENIX MILLS LTD		291	251	36,647	61,200	不動産
JK CEMENT LTD		73	64	20,332	33,955	素材
INFO EDGE INDIA LTD		50	—	—	—	コミュニケーション・サービス
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA		188	295	35,994	60,110	金融
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD		90	83	35,010	58,467	資本財・サービス
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD		103	164	35,948	60,034	金融
CHALET HOTELS LTD		1,063.44	1,063.44	38,257	63,889	一般消費財・サービス
SKF INDIA LTD		149.07	105.07	50,081	83,636	資本財・サービス
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD		—	275	23,346	38,988	素材
CREDITACCESS GRAMEEN LTD		359	350	31,521	52,640	金融
TATA STEEL LTD		327	4,120	46,535	77,714	素材
CIPLA LTD		702	601	66,686	111,367	ヘルスケア
AXIS BANK LTD		2,070	1,798	162,656	271,635	金融
MARUTI SUZUKI INDIA LTD		167	148	129,016	215,458	一般消費財・サービス
DLF LTD		—	1,050	43,512	72,665	不動産
ASHOK LEYLAND LTD		1,946	1,946	28,392	47,414	資本財・サービス
HINDUSTAN UNILEVER LTD		436	381	101,138	168,901	生活必需品
BHARAT PETROLEUM CORP LTD		1,064	—	—	—	エネルギー
ULTRATECH CEMENT LTD		102	89	64,454	107,638	素材
BHARAT FORGE LTD		589	553	46,512	77,676	一般消費財・サービス
CUMMINS INDIA LTD		403	391	56,657	94,618	資本財・サービス
DIVI'S LABORATORIES LTD		—	140	46,982	78,460	ヘルスケア
SHREE CEMENT LTD		21	20	48,019	80,192	素材
AIA ENGINEERING LTD		156.25	141.25	39,293	65,620	資本財・サービス
TVS MOTOR CO LTD		821	679	70,680	118,036	一般消費財・サービス
MULTI COMMODITY EXCH INDIA		95	—	—	—	金融
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS		1,599	—	—	—	金融
HINDALCO INDUSTRIES LTD		1,756	1,633	76,751	128,174	素材
WIPRO LTD		—	1,030	42,369	70,756	情報技術
TATA CONSULTANCY SVCS LTD		192	65	22,004	36,747	情報技術

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
外貨建金額	邦貨換算金額					
		百株	百株	千インド・ルピー	千円	
LARSEN & TOUBRO LTD		654.9	579.9	121,402	202,741	資本財・サービス
DR. REDDY'S LABORATORIES		119	—	—	—	ヘルスケア
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE		523	651	174,734	291,807	金融
HDFC BANK LIMITED		827	642	103,435	172,737	金融
BHARTI AIRTEL LTD		993.13	—	—	—	コミュニケーション・サービス
ABB INDIA LTD		253	232	68,303	114,066	資本財・サービス
INDIAN HOTELS CO LTD		2,442	1,976	64,802	108,220	一般消費財・サービス
インド・ルピー通貨計	株数、金額	22,183.35	23,307.22	2,096,830	3,501,707	
	銘柄数<比率>	37銘柄	36銘柄		<73.8%>	
ファンド合計	株数、金額	25,201.35	26,143.22	—	4,484,123	
	銘柄数<比率>	40銘柄	39銘柄		<94.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外国	SGX NIFTY 50 (シンガポール)	百万円	百万円
		159	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円	%
	4,484,123	94.2
コール・ローン等、その他	276,231	5.8
投資信託財産総額	4,760,354	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝137.31円、1インド・ルピー＝1.67円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（4,694,929千円）の投資信託財産総額（4,760,354千円）に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月7日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	4,760,354,946円
コール・ローン等	238,163,493
株式（評価額）	4,484,123,477
未収入金	3,605,349
未収配当金	194,328
差入委託証拠金	34,268,299
(B)負債	16,908,921
未払金	16,908,921
(C)純資産総額（A－B）	4,743,446,025
元本	1,502,274,001
次期繰越損益金	3,241,172,024
(D)受益権総口数	1,502,274,001口
1万口当り基準価額（C／D）	31,575円

* 期首における元本額は1,661,166,542円、当作成期間中における追加設定元本額は419,980,402円、同解約元本額は578,872,943円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ・インド株ファンド 1,502,274,001円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は31,575円です。

■損益の状況

当期 自 2021年12月 8 日 至 2022年12月 7 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	40, 291, 246円
受取配当金	30, 547, 731
受取利息	103, 028
その他収益金	9, 663, 247
支払利息	△ 22, 760
(B) 有価証券売買損益	1, 015, 104, 592
売買益	1, 194, 647, 439
売買損	△ 179, 542, 847
(C) 先物取引等損益	12, 785, 852
取引益	35, 557, 523
取引損	△ 22, 771, 671
(D) その他費用	△ 29, 276, 218
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	1, 038, 905, 472
(F) 前期繰越損益金	2, 486, 298, 489
(G) 解約差損益金	△ 1, 107, 351, 535
(H) 追加信託差損益金	823, 319, 598
(I) 合計 (E + F + G + H)	3, 241, 172, 024
次期繰越損益金 (I)	3, 241, 172, 024

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。